

# 世界各地からの 海外生我が校紹介

日本とはことばも文化も違う外国の学校で、日本人の子どもたちはどんな学校生活を送っているのでしょうか。今回はフランス、オーストラリア、シンガポール、ドイツ、アメリカに暮らす小学生1人と中学生4人に、自分たちが通っている学校を紹介してもらいました。



友達(右)と学校にて



数日後に、もう一枚

せん。その上、水曜日は朝だけです。また、休みがとて多いです。一年に二週間の休みが四回、二カ月の夏休みが一回と、合計五回も休みがあります。他にも数学や科学の授業・テストでも計算機を使って良い時があるなど、驚くことが沢山あります。

この学校に入ってから自分が成長したと思うことは、自分で勉強をすることが出来るようになったことです。日本語の勉強もフランス語の勉強もしなければいけないので、この学校に入ってから考えて勉強することを教わりました。

私が自分の学校で一番好きな場所は、セーデーイー(CDI)といつて、日本の図書館と同じ様な場所です。本棚とコンピューター、テーブルが置いてあり、静かに勉強や読書が出来ます。この場所のおかげで、

今仲が良い友達と知り合えた様なものでもあり、本当にとても好きな場所です。学校では、とても楽しい行事もあります。例えば、スペインへの修学旅行などがあります。この行事はとても人気があつて、皆楽しみにしています。フランスの学校と日本の学校には多くの違いがありますが、私の学校には勉強などを教えてくれる人達も居て、とても過ごしやすいです。最初は少し辛かったし、苦労しましたが、やはりフランスに来て良かったなと思うことも多くあります。フランス語を話せる様になったことはもちろん、様々な人や文化とふれあえたことや、日本ではない国からの世界の見方、勉強法など、私にとってフランスに来たことはとても良い経験です。

私の名前は白澤・アダム・あえ瑠で、現在十四才の中学二年生です。私は日本で生まれ、五才まで日本で過ごした後、父の母国であるフランスに引越しました。小学校全学年と、中学校一年の前半を過ごした後、日本で小学校六年生と中学校一年生を送りました。そして今、フランスの中学校で四年生を楽しんでいます。

私が思うこの学校の良いところは、先生と生徒の仲が良いところです。いつも授業後に仲良く話をしたりしていて、授業中に分らなかつたところなども質問しやすく、とても良いと思います。

今、フランスでは日本のものがかなり流行っています。和食などもそうですが、漫画が特に人気がある様で、世界の中でも漫画の販売量はトップに入るそうです。それもあるのか、学校ではよく漫画の話で盛り上がりがあります。フランスに日本の文化が知られて、人気が出ているのは、何だかとても嬉しいです。

## フランス マルコンバロール

### ルージュバール中学校

## 中② 白澤・アダム・あえ瑠

間、中学校が四年間で、九月に新学期が始まります。日本から一学年を終えてフランスに行く場合は、一年の真ん中になります。

この学校を選んだ理由は、小学校時代のクラスメイトが居ることと、家から近いことです。ただ、良い学校なのですが、日本人へのフォローやサポートはほとんど無いので、少し大変です。



校舎



友達(笑)